

別紙 2

自己点検・自己評価報告書

平成 27 年 3 月 31 日現在

日商簿記三鷹福祉専門学校

平成 27 年 3 月 31 日作成

目 次

基準 1 教育理念・目的・育成人材像等	1	3-17 資格取得の指導体制はあるか.....	23
1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか.....	2	3-18 生涯学習に対して積極的に取り組んでいるか.....	24
1-2 学校の特色はなにか.....	3	3-19 附帯教育事業に対する取り組みの組織・体制は明確になって いるか.....	25
1-3 学校の将来構想を抱いているか.....	4	基準 4 教育成果	26
基準 2 学校運営	5	4-20 学生の就職に関する目標を達成したか.....	27
2-4 運営方針は定められているか.....	6	4-21 資格取得に関する目標を達成したか.....	28
2-5 事業計画は定められているか.....	7	4-22 退学率の低減に関する目標を達成したか.....	29
2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか.....	8	4-23 卒業生・在校生は社会で活躍し、評価を得ているか.....	30
2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか.....	9	基準 5 学生支援	31
2-8 意思決定システムは確立されているか.....	11	5-24 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能して いるか.....	32
2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか.....	12	5-25 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか.....	33
基準 3 教育活動	13	5-26 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に 機能しているか.....	34
3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の 人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか.....	14	5-27 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか.....	35
3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性 等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を 勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められて いるか.....	15	5-28 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか.....	36
3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか.....	16	5-29 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか.....	37
3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされて いるか.....	17	5-30 保護者と適切に連携しているか.....	38
3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか.....	18	5-31 卒業生への支援体制はあるか.....	39
3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を 確保しているか.....	19	基準 6 教育環境	40
3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか.....	22	6-32 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備 されているか.....	41
		6-33 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育 体制を整備しているか.....	42

6-34	防災に対する体制は整備されているか	43	8-41	財務について会計監査が適正におこなわれているか	53
基準 7 学生の募集と受け入れ.....		45	8-42	財務情報公開の体制整備はできているか	54
7-35	学生募集活動は、適正に行われているか.....	46	基準 9 法令等の遵守.....		55
7-36	就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍の教育成果は、 学生募集に貢献したか.....	47	9-43	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか.....	56
7-37	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	48	9-44	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	57
7-38	学納金は妥当なものとなっているか.....	49	基準 10 自己点検・自己評価、第三者評価		58
基準 8 財務		50	10-45	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	59
8-39	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか.....	51	10-46	自己点検・自己評価結果の公開はしているか	60
8-40	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか.....	52	10-47	第三者機関による学校評価を受ける予定・方針は確立されて いるか	61

基準 1 教育理念・目的・育成人材像等

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>1. 建学の理念 建学の理念は、創設者の教育に対する思いであり、簿記会計教育をはじめ介護福祉教育を行う。「我づくり・ことづくり・金づくり」を元に自己実現・社会貢献を行うことのできる人材養成を行うことを理念としている。</p> <p>2. 教育理念・目的・育成人材像等 本校は、学校教育法に基づき、簿記並びに福祉、情報処理教育の重要性に伴い、簿記、会計、税務、福祉、情報処理に関する学校教育を行い、高齢化・情報化社会に対応できる人材を育成し、もってわが国簿記並びに福祉、情報処理教育の振興に寄与することを目的とする。 また、教えることは学ぶことをモットーに教職員は日々研鑽に励むこととしている。</p> <p>3. 理念・目的・育成人材像の課題 学校の将来を考えて、3～5年後の中期的構想を抱き、それに合わせて広報活動を行っているが、昨今の少子化・大学全入時代・大手介護事業者の不正など、介護に対する風当たりは強い。また、ほんの少数ではあるが、基礎学力が著しく劣る学生が入学後、専門的教育を受ける場合、かなりの苦勞が生じている。教職員はそういった学生のために最大限の支援を行っているが、必ずしも学生本人の意欲と一致しているわけではない。 将来を見据え新しい講座・学科の新設を検討中である。</p>	<p>1. 本校の理念及び目的 教職員のための理念 ・教えることは学ぶこと・教え育てる教育・聖職であること 学生のための理念 ・我づくり・職業教育の徹底・満足できる教育</p> <p>2. 教育目的 簿記並びに福祉、情報処理教育の重要性に伴い、簿記、会計、税務、福祉、情報処理に関する学校教育を行い、高齢化・情報化社会に対応できる人材を育成し、もってわが国簿記並びに福祉、情報処理教育の振興に寄与することを目的とする</p> <p>3. 本校の育成人材像 ・高齢社会に対応できる介護福祉士 ・高度情報時代に対応できる簿記・会計・情報に精通したビジネスマン ・地域・社会貢献できる人材</p> <p>4. 本校のカリキュラム特徴 ・少人数教育 ・介護福祉学科は厚生労働省指針に基づくカリキュラム ・経営ビジネス学科は時代に対応した会計教育 ・情報ビジネス学科は高度情報時代に対応した情報教育</p>

最終更新日付

2015年3月31日

記載責任者

吉川 智之

1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-1-1 学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか	教育理念・教育目的・育成人材像とも明確に定めなければならない。	理念は、学校玄関に提示してある。教育目的・育成人材像は学則、学校案内に掲載してあるため。	教育方針についての企画書を各教職員に課題を与える。	学則 学校案内 学生ハンドブック
1-1-2 理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか	理念・目的・育成人材像を実現するために、学科のカリキュラムの充実を図る必要がある。	カリキュラムは育成人材像を意識したカリキュラムとなっている。	カリキュラム内容に関しては、適宜見直しを図るため学生からの評価を導入する必要がある。	学則 学校案内（カリキュラム） Web サイト
1-1-3 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか	毎年、見直しのための実務者会議、講師会、理事会を開催しなければならない。	カリキュラムの充実を図るために、専任・非常勤講師の情報交換、会議を行い、改善があれば即対応している。	問題発生時即座に対応する必要がある。	議事録
1-1-4 理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されなければならない。	教職員の定期会にて、理念の確認を行っている。学外に関しては、Web サイトにて公開している。	今後、学外用に理念などを盛り込んだ学校案内を別冊で作成する必要がある。	学則 学校案内

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理念・目的・育成人材像といった教育に必要な抽象的概念を定め、分かりやすく内外に周知している。特に教職員の徹底に関しては基準を満たしていると思われる。今後、学外への周知方法については Web サイトにて対応している。	本校の教育理念 教職員のための理念 ・教えることは学ぶこと・教え育てる教育・聖職であること 学生のための理念 ・「我づくり・ことづくり・金づくり」を元に自己実現・社会貢献を行える人材

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

1-2 学校の特色はなにか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-2-5 学校の特色として挙げられるものがあるか	学校の特色として、少人数教育、地域密着の社会貢献校、就職支援の充実、関連資格多数取得を掲げ、実行されなければならない。	1クラス35名定員の少人数教育を行っており、担任・各担当者が学生個別にサポートを行っている。人格形成に重きをおき、人間性豊かな人材を育てることをモットーに日々教育を行っている。 地域のボランティアや障害者支援事業に積極的に貢献している。 福祉関連資格取得の案内を行い、受講させている。	より個別に対応がのぞまれ、温かみのある学校を目指すことを徹底する。 少人数教育においてもクラス内の問題をすべて把握できていない場合もある。 地域のボランティアに積極的に参加する学生の減少があげられ、周知の徹底を行う。 今後も、資格取得に向け検定対策及び短期講座お充実をはかる。	学校案内 学則 福祉関連資格チラシ

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
少人数教育は、かなり進んでおり、基準を満たしていると思われる。特に担任や就職担当・実習担当を設けることで問題に即座に対応している。ひとりひとりの個性を伸ばすには最適の教育と思われる。	介護福祉学科は1学年35名、ビジネス学科は1学年40名 地域貢献のために授業の中にボランティア活動を設置している。 地域貢献のために各種ガイドヘルパーの資格取得、介護保険事務士、リフレクソロジー資格取得を格安で提供している。

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

1-3 学校の将来構想を抱いているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-3-6 学校の将来構想を描き、3～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	5カ年計画委員会を立ち上げ、学校の中期計画を策定し、それに基づいて将来計画を策定すべきである。 ビジネス学科は多国籍を重視しなければならない。	今年度の入学者は、20名と減少し、体験入学者昨年度の半数と激減している。 ビジネス学科は増員しているが、中国籍が減少したが、実績としては多国籍になっている。	介護福祉のイメージアップと新しい講座・学科の検討 公共訓練の積極的な受託 中国人留学生の獲得 5カ年計画委員会については校長のリーダーシップのもと中期計画を策定中である。	学校案内 広告

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
3～5年後の中期的構想を抱き、それに合わせて広報活動を行っているが、昨今の少子化・大学全入時代・大手介護事業者の不正など、介護に対する風当たりは強い。しかしながら施設においては、人材不足が浮き彫りになり、重要と供給のバランスがよくない。 ビジネス学科においては、増員しているが、中国籍が減少した。	介護福祉士については、協会やマスコミを通じてイメージアップ戦略をおこなっている。また、将来夢と希望が持てる介護業界にしていくために日々努力しているが、ネガティブイメージが強い。 ビジネス学科についても日本語でわかりやすく授業を行うよう努めていく。

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

基準 2 学校運営

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校法人はその課せられた社会的使命を果たすために必要な管理運営組織を置いている。その運営組織が効率的に機能また組織のガバナンス（統治）を発揮するためには、ディスクロージャー（情報開示）とアカウントビリティ（説明責任）が必要となる。</p> <p>運営方針については、学校運営のための目的・目標・方針は明確に定められ、教職員規約により、徹底されている。また、変更事項については、学校長の定期会において報告がある。また、書面として寄付行為・学則、教職員規約などは整備されている。</p> <p>各事業計画については定められており、事業計画に沿って運営されている。</p> <p>運営組織図や意思決定機関は、運営組織は存在し、運営組織や意思決定機能は、学校の目的、目標を達成するための効率的なものになっている。運営組織図はあり、効率的に運営できている部分がほとんどだが、教職員も決して多いとは言えないので、各学科共通部分は助けあって業務を行っている。今後個々の死後の分掌と責任を明確化し、業務の効率化を図っていく必要がある。</p> <p>学校運営に必要な人材の確保と育成が行われおり、人事考課・昇進・昇格制度・賃金等は整備されている。</p> <p>また、定期的な職員会議を設け、月一回以上、各学科職員の会議、月一回学校全体会議が行われている。</p> <p>業務効率化を図る情報システム化は、パソコン等の導入によりシステム化されているが、パソコンの力量は個々差が生じているのが現状である。誰でも使いやすいシステムの導入が急務である。</p>	<p>寄付行為、運営組織(理事会・評議員会)、学則、教職員規約は適正に整備されている。決算においても監事を通じ、みなに周知されるようにしているので経営の透明性があると思われる。</p> <p>各学科・コースにおいて事業計画を定め、学科長・学校長・理事長の承認をいただくことで、細かい連絡体制が整備されている。</p> <p>組織図は、理事会・評議員会があり、その下に各学科と教務課・広報課があり、附帯事業は各学科の末端に位置する。</p> <p>人事における採用試験は学科長・校長の2次面接である。</p> <p>意思決定に関して、は最終的な意思決定は学校長・理事長、各学科長にはある程度の決定権が与えられている</p> <p>システムの効率化に関しては、常勤教職員の机にパソコンを設置しており、共有ファイルが使用できる。</p>

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

2-4 運営方針は定められているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-4-1 学校の目的、目標に基づき、学校運営方針は明確に定められているか	学校運営のための目的・目標・方針は明確に定められていなければならない。	理事会・評議員会また寄付行為により徹底されている。	理事会・評議員会は機能しており、また寄付行為は問題ないと思われる。	理事会・評議員会議事録 寄付行為
2-4-2 学校運営方針はきちんと教職員に明示され、伝わっているか	学園全体の方針と目的適合性のある学校運営方針は職員会議等で伝達され学校を構成する教職員が共有すべきである。	入職前、教職員規約に目を通すよう徹底している。各学科長による定期的な指導及び職員会議にて報告がされている。	全員が毎日規約及び会議における決定事項を意識する必要がある。	教書員規約 職員会議議事録
2-4-3 学校運営方針を基に、各種諸規定が整備されているか	各学科の諸規定は、教育目標、輩出すべき人材像と整合性を持っているべきである。	寄付行為・学則、教職員規約などは見たいときに見ることができる	特になし	寄付行為 学則 教職員規約

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
寄付行為・教職員規約・学則などは、しっかりと整備され、基準を満たしていると思われる。規約や学則などは、入職前、教職員規約に目を通すよう徹底しており、各学科長による定期的な指導がある。	寄付行為、学則、教職員規約はきちんと整備されている。決算においても監事を通じ、みなに周知されるようにしているので経営の透明性があると思われる。

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

2-5 事業計画は定められているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-5-4 学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められているか	次年度の予算編成にあたり、事業計画は定められているべきである。	各学科・コースにおいて事業計画を定め、学科長・学校長・理事長の承認。	目的は定められており、実績と相反する部分を改善していく必要がある。	各種事業計画書 事業報告書
2-5-5 学校は事業計画に沿って運営されているか	理事会で承認された次年度事業計画に沿って運営されるべきである。	予算策定時に提出した事業計画によって承認された予算により通常業務を遂行している。	PDCA サイクルの徹底	事業計画書

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校、学科ごとに事業計画が定められ、事業計画に沿って運営されているので、基準を満たしていると思われるが、実績と相反する部分もある。	各学科・コースにおいて事業計画を定め、学科長・学校長・理事長(理事会)の承認をいただくことで、細かい連絡体制が整備されている。 特に介護福祉学科は厚生労働省の厳しい縛りがあり、毎年厚生労働省の報告が義務付けられ実施している。

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-6-6 運営組織図はあるか	理事長のリーダーシップのもと、理事会は機能し、権限と責任の明確化をはっきりとさせるべきである。	理事会があり、学校ごとに学科別に組織が存在する。また、教務・広報課は別途に設けている。	学校組織なので教務部一本化の体制として組織図を整備	組織図
2-6-7 運営組織や意思決定機能は、学校の目的、目標を達成するための効率的なものになっているか	組織運営が効率的に機能するためには学校の目的や目標と目的適合性をもった組織構成とすべきである。	各学科の連絡体制、学校長・理事会への連絡体制は整備されている。	定期的な会議を開催する必要がある。稟議書の徹底。	なし
2-6-8 組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	校長のリーダーシップが発揮できるような責任と権限の明確化は組織のガバナンスとして必要である。	学科長・担任・教務課と広報課の業務を分け、それぞれ遂行している。	今後、職務分掌を徹底するが、人材を増やす必要があるため、考慮すべき部分である。	なし

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理事長のリーダーシップのもと、運営組織図はあり、効率的に運営できている部分がほとんどだが、教職員も決して多いとは言えないので、各学科共通部分は助けあって業務を行っている。今後個々の死後の分掌と責任を明確化し、業務の効率化を図っていく必要がある。	組織図は、理事会・評議員会があり、その下に各学科と教務課・広報課があり、附帯事業は各学科の末端に位置する。今後、職務分掌を徹底するが、人材を増やす必要があるため、考慮すべき部分である。

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-7-9 学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	理事会・評議員会・各学科においては、学術的・専門的な人材をそろえることが必要である。	各教科において、規定により、必要な人材の選定がなされている。	評議員会の整備が必要である。また、断続的に非常勤講師の確保が必要。	教職員・非常勤講師一覧表。
2-7-10 人事考課制度は整備されているか	人事考課制度は必要である。	年2回（賞与時）に評価は、学科長と学校長、理事長により人事考課が行われている。	人事考課制度は、教員だけでなく全職員に行うこととする。	人事考課表
2-7-11 昇進・昇格制度は整備されているか	昇進・昇格制度は整備されることが重要である。	年1回学科長と学校長、理事長により昇進・昇格が行われている。	昇進・昇格は理事会のもとで行われているが、実績に伴う評価で行っていく。	理事会議事録
2-7-12 賃金制度は整備されているか	賃金制度は整備されることが重要である。	給与は毎月27日に遅滞なく支給されている。	特になし。	給与明細書

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-7-13 採用制度は整備されているか	採用制度は明確に整備されなければならない。	学科長・校長の面接により採用制度に基づき採用されている	講師の採用については紹介がほとんどであるが、広く人材を求めることも検討する。	面接記録
2-7-14 教職員の増減に関する情報を明確に把握しているか	経営面、労働環境において教職員の増減に関する情報は把握する必要がある。	学科長・校長より報告	人材の採用については、皆の意見を求めるべきである。	なし

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
採用試験は学科長・校長の2次面接であり、採用制度、教職員の増減に関する情報は基準を満たしていると思われる。 人事考課制度があり、昇進・昇格制度は整備されている。また、賃金制度は整備されている。	採用試験は学科長・校長の2次面接である。 非常勤講師については、紹介がほとんどであるが、広く人材を求めることを検討していかなければならない。

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

2-8 意思決定システムは確立されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-8-15 意思決定システムは確立されているか	意思決定において理事長のリーダーシップが発揮できるためには、組織として機能していくことが必要である。	1か月に1度のペースで本部と学校の会議が設けられている	末端職員の意味決定は反映されにくい、今後も職員会議を通じ、意見を述べていく。	組織図
2-8-16 意思決定プロセスのポイントとなる仕組み(会議等)が制度化されているか	定期的な職員会議を設け、本部と学校の会議・報告を通じ反映されていくべきである。	職員会議で決定した内容を本部が精査し、重大事項は理事会・評議員会において採決している	有益な会議は増やし、情報交換、意思を確認していったほうがよい。	組織図
2-8-17 意思決定の階層・権限等は明確か	組織において、各階層とも権限と責任及び職務内容の明確化が必要である。	学科長制をとっており、学科長→校長に報告が上がりやすいような体制をとっている。	特になし。	なし

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
各学科責任者は、意思決定システムが確立されているとはいえ、最終的決定権は学校長・理事長である。また、定期的な職員会議を設け、月一回以上、各学科職員の会議、月一回学校全体会議が行われている。	最終的な意思決定は理事長 各学科長にはある程度の決定権が与えられている 会議において積極的に意見を述べるような環境作りが大切である。

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-9-18 業務効率化を図る情報システム化がなされているか	業務効率化を図る情報システム化が必要	グループウェア間で細かい情報を共有している	グループウェアや共有ファイルを使いこなせない職員がいる。 セキュリティの確保	サイボウズ

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
業務効率化を図る情報システム化がなされており、基準を満たしていると思われるが、グループウェア・共有ファイルを使いこなせない職員がいる。	常勤教職員すべての机にパソコンを設置 LAN構築により、共有ファイルを活用できる。 グループウェアの導入により、情報の共有が効率化したと思われる。

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

基準 3 教育活動

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられおり、各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められている。学科のカリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されており、内容については、業界など外部者の意見をなるべく反映していきたいと考えている。</p> <p>学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされていて、各科目の指導内容、方法等を示したシラバスが作成されている。介護福祉学科のカリキュラムに関しては、領域が「社会の理解」「介護」「こころとからだのしくみ」に加え「医療的ケア」が加わり、さらに専門的な領域の知識と技術を習得するための整備がなされた。</p> <p>教員に関しては、学科の育成目標に向け授業を行うことができる要件（専門性・人間性・教授力・必要資格等）を備えた教員を確保している。専門性向上のため、外部研修に積極的に参加し、ニーズの個性化・多様化・高度化、イノベーションによる業態変化に対応できるための教育の充実が必要であると考えられる。それはまさに「人」であり、教員の教授力が問われることとなっている。</p> <p>就職支援等のキャリア教育については、「望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身につけさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育」という立脚点のもと教育を実施している。早い段階からの就職相談や意識の啓蒙、面接指導等を行い、キャリア教育を重視している。</p> <p>成績評価・単位互換については、学則において明確に定められている。資格取得や生涯学習に関しても明確な位置づけがされ、積極的に取り組んでいる。</p>	<p>介護福祉学科は人間性豊かな人材を育成している</p> <p>情報・経営ビジネス学科は職業教育の徹底を行っている</p> <p>カリキュラムは、特別科目に本校の特徴である人間性豊かな教育内容が盛り込まれ、学生は充実したカリキュラムで学習できる。</p> <p>教書金非常勤講師については、教職員のレベルアップのため、外部研修に積極的に参加している</p> <p>教員・講師会を年2回開いている</p> <p>授業日誌の提出</p> <p>連絡簿を設置</p> <p>アンケート、ヒアリング</p> <p>個人面接を行っている</p> <p>教員・非常勤講師については、各規定をクリアした人材確保を徹底している</p> <p>OJT、外部研修の参加</p> <p>年2回の講師会を開催</p> <p>各教科詳細に成績評価・単位評価の基準が明確である</p> <p>単位認定については、学則に記載されている</p> <p>資格取得のカリキュラムは万全である</p> <p>就職支援のためのキャリア教育を行っている</p> <p>補習を行っている</p>

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか
--

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられるべきである。	介護福祉学科は人間性豊かな教育を行えるカリキュラムとなっている。 情報・経営ビジネス学科はビジネスマン(ウーマン)等に必要なカリキュラムとともに職業教育の徹底を行っている。	特に情報教育については日進月歩であり、最新の技術を行う場合は、教員の研修が必要	シラバス 学生ハンドブック

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられていて基準をみたしていると思われる。今後は、最新の知識や技術を還元していくため、ブラッシュアップ講座、フォローアップ講座を開催していく必要がある。	介護福祉学科は人間性豊かな人材を育成している。 情報・経営ビジネス学科は職業教育の徹底及び資格取得を必須としている。

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
---------------	------------	--------------	-------

3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-2 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定めら	各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められるべきである。	学科別に専門科目以外に基礎分野、特別科目を追加し、知識・技術・人間性のレベルアップを行っている。	学力の低い学生の時間外補講を積極的に行うが、基礎学力の低いまま入学してくる学生が増加したため、基礎的学力の補講も検討する。	学校案内

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
介護福祉学科は通常 1800 時間以上で卒業できるカリキュラムを、1900 時間程度まで増やし、学科別に専門科目以外に基礎分野、特別科目を追加し、知識・技術・人間性のレベルアップを行っている。	特に特別科目に本校の特徴である人間性豊かな教育内容が盛り込まれ、学生は充実したカリキュラムで学習できる。 今後は、基礎学力の低い学生の時間外補講を積極的に行う。

最終更新日付	2015 年 3 月 31 日	記載責任者	吉川 智之
--------	-----------------	-------	-------

3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-3 学科のカリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか	学科のカリキュラムは、目標達成（資格取得・就職）に向け十分な内容でかつ体系的に編成されるべきである。	各学科とも専門分野の知識・技術を習得するためのカリキュラムが体系的に編成され、実力もついている。	習熟度の確認を随時行うべきである。	学校案内
3-12-4 カリキュラムの内容について、業界など外部者の意見を反映しているか	将来の活躍分野である業界の人材像を育成するためのカリキュラムの変更を行うべきである。	外部からの講師の部分は満たされているが、常勤の教員の部分は外部研修に参加するなどしてレベルアップを図る。	時代の変化に対応するため、外部研修への参加することを検討する	学校案内
3-12-5 カリキュラムを編成する体制は明確になっているか	カリキュラムを編成する体制は明確になっているべきである。	学科ごとにカリキュラムは編成され、問題なく実施されている。	あくまで、内部の体制であるため外部らの意見も参考にしたい。	学校会案内
3-12-6 カリキュラムを定期的に見直しているか	カリキュラムは①社会の変化、②業界ニーズの変化、③生徒の質の変化等に鑑み定期的に見直されるべきである	カリキュラムは、法的に決まっているので、内容充実化をはかる会議が設けられている。	見直しの必要があればその都度時代の変化に対応し、見直す必要がある。	学校案内

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学科のカリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているが、内容について、業界など外部者の意見を反映している部分としていない部分がある。カリキュラムは、法的に決まっているので、内容充実化をはかる会議がもうけられている。	教職員のレベルアップのため、外部研修に積極的に参加している。内容の充実化をはかるための会議を行っている。

最終更新日付

2015年3月31日

記載責任者

吉川 智之

3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-13-7 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	教育目標を達成するためのカリキュラムにおける各科目は構成要素としての整合性をもって配置されるべきである。	各学科また養成科目の中にカリキュラムが適正に位置づけられている。	時代の変化、社会のニーズの変遷、人々のライフスタイルの変遷、価値観の推移等に合わせた定期的な点検が必要。	学校案内
3-13-8 各科目の指導内容、方法等を示したシラバスが作成されているか	各教科の教育目標を達成するための要素としてのシラバスが各教科、整備されるべきである。	シラバスがあり、学期初めに学生に配布しそれに基づき運営されている	特になし	シラバス
3-13-9 各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されなければならない。	各授業予定表があり、学生に配布している。	特になし	授業予定表

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学科の各科目は、カリキュラムの中で適正に位置付けられ、各科目の指導内容、方法等を示したシラバスが作成されている。また、各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されている。授業内容等連絡簿を設けている。	カリキュラム・シラバス・授業予定表が作成・配布されている。教員・講師はシラバスをもとに授業を展開している。

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-14-10 キャリア教育が行われているか	職業教育である以上、正規のカリキュラムの中で将来の就業分野において活躍するにふさわしい教育を行うべきである。	早い段階からの就職支援授業、面接指導等を行って意識改革を促している	就職に対する意識が高まらない学生に対しての支援の行い方の工夫	就職マニュアル
3-14-11 キャリア教育の実効性は検証されているか	授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制がある。	高い就職率（介護福祉学科 96%以上）を充足しているため現在のところマッチしているものと思われる。	外国人留学生の就職について対策と就職先開拓が必要。外国人留学生の就職率がアップした。	就職名簿一覧

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
早い段階からの就職支援授業、面接指導等を行って意識改革を促している。高い就職率（介護福祉学科 96%以上）を充足しているため現在のところマッチしているものと思われる。ビジネス学科は進学する学生も多く、すべて就職希望というわけではない。	就職に対する意識が高まらない学生に対しての支援の行い方の工夫 外国人留学生の就職について対策と就職先開拓が必要。 今年度は、外国人留学生の就職率がアップした。

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
--

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-15-12 学科の育成目標に向け授業を行うことができる要件（専門性・人間性・教授力・必要資格等）を備えた教員を確保しているか	学科の育成目標に向け授業を行うことができる要件（専門性・人間性・教授力・必要資格等）を備えた教員を確保することが望ましい。	教員・非常勤講師については、学校教育法の専修学校設置基準および介護福祉士養成施設指導要項をクリアした人材確保を徹底している	専任講師では担当できない科目もあるため、外部講師を招へいしている。	教員・非常勤講師名簿
3-15-13 教員の専門性レベルは、業界レベルに十分対応しているか	教員の専門性レベルは、業界水準であるとともに、いずれの分野においても社会の到達点を見せることにより、生徒に動機づけを行い、興味づけを行うべきである。	就業年数、資格、人間性等業界レベルに十分対応している	各教員間において、自身の知識や技術に満足することなく、研修を行うことを検討する。	教員・非常勤講師名簿
3-15-14 教員の専門性を適宜把握し、評価しているか	授業アンケート等にもとづき教員の適正性を判定すべきである	非常勤を含む全開設授業について、全科目終了時に授業アンケートを実施。	今後もアンケート、教職員からの評価を行っていく。	アンケート
3-15-15 教員の専門性を向上させる研修を行っているか	教員の専門性を向上させる研修を行い、学生に還元すべきである。	OJT、外部研修(管理者研修、中堅職員研修等)への参加	OJT の徹底や外部研修の積極的な参加	研修資料

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-15-16 教員の教授力(インストラクションスキル)を適宜把握し、評価しているか	教員の教授力を把握するために授業評価を実施すべきである。	授業見学、ヒアリング、学生アンケート等を行っている。	アンケート、ヒアリング、面接を行い評価し、改善を図っていく。	アンケート結果
3-15-17 教員の教授力(インストラクションスキル)を向上させる研修を行っているか	教員は絶えず時代の到達点を把握し、それを平常の授業に還元すべきである	OJT、外部研修の参加を推進している。	OJTの徹底が必要 非常勤講師については、各人のスキルにまかせている。	
3-15-18 教員間(非常勤講師も含めて)で適切に協業しているか	講義資料、講義内容、試験問題、採点基準を統一すべきである。	会議、連絡会の徹底している。	適時、講師会を開講し、授業内容の確認、試験問題の統一化の方向で対処してゆく。	会議録
3-15-19 非常勤講師間で適切に協業しているか	講義資料、講義内容、試験問題、採点基準を統一すべきである。	講師会の開催。授業内容等連絡簿を設けている。	適時、講師会を開講し、授業内容の確認、試験問題の統一化の方向で対処してゆく。	会議録

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-15-20 非常勤講師の採用基準は明確か	当該科目の専門性と②教員としての人格、識見共に充足し自分自身の教育観を持っている人材が必要。	各規定において、就業年限・資格等が明確にされている。	特になし	履歴書 教職員規定

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学科の育成目標に向け授業を行うことができる要件（専門性・人間性・教授力・必要資格等）を備えた教員を確保し、修業年限・資格等については明確に規定しているので基準を満たしていると思われる。アンケート、ヒアリング、面接を行い評価している。	教員・非常勤講師については、各規定をクリアした人材確保を徹底している OJT、外部研修の参加 年2回の講師会を開催 アンケート、ヒアリング

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-16-21 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	成績評価・単位認定の基準は明確にすべきである。	各教科詳細に成績評価・単位評価の基準が明確であり、それに基づいて評価を行っている。	①出席状況、②提出物(レポート)、③筆記試験、④授業態度などを細かく明示すべきである。	成績評価表
3-16-22 他の高等教育機関との間の単位互換に関する明確な基準があるか	他の高等教育機関との間の単位互換に関する明確な基準を示すべきである。	単位認定については、学則に記載。	特になし	学則

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
成績評価・単位認定の基準は明確になっており、他学則においての高等教育機関との間の単位互換に関する明確な基準がある	各教科詳細に成績評価・単位評価の基準が明確である 単位認定については、学則に記載されている

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

3-17 資格取得の指導体制はあるか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-17-23 目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか	目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められていること。	各学科のカリキュラムに関連する資格を①取得できる資格、②学科試験免除資格、③受験資格取得、④目標資格別に指導。	検定対策授業の充実 今後導入予定の「介護福祉士国家試験」対策が重要	学校案内
3-17-24 目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか	目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっていることが望ましい。	卒業と同時に取得申請できる介護福祉士資格のみではなく、それぞれの学科に応じた多彩な資格に対応したカリキュラムでフォローしている。	どうしても資格取得まで至らない学生が少数存在する。そうした場合の資格取得に関しての代替を検討する。	学校案内

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められ、サポート体制は整備されている。しかしながら本人の努力次第の部分もあり、全員合格までもっていくにはかなりの努力が必要である。そのため検定対策授業の充実をはかる。	資格取得のカリキュラムは万全である。補修を行っている。

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

3-18 生涯学習に対して積極的に取り組んでいるか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-18-25 生涯学習に対して積極的に取り組んでいるか	生涯学習に対して積極的に取り組まなければならない。	公共職業訓練を積極的に受け入れている	教室の稼働率を上げるため、今後も積極的に対応していく。	離職者訓練資料
3-18-26 聴講生制度はあるか	聴講生制度はあって然るべきである。	地域にアナウンスしている	聴講生制度はあるが、現在参加者はいない。	学則
3-18-27 生涯学習に関連する講座の開設・受講の状況・推移を正確に把握しているか	生涯学習に関連する講座の開設・受講の状況・推移を正確に把握することが望ましい多。	事業計画の中に生涯学習は含まれており、明確な位置づけがなされている。	特になし	離職者訓練資料

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
公共職業訓練を積極的に受け入れており、生涯学習に関しては基準をみていると思われる。	離職者訓練 介護福祉サービス科 パソコン実践科 等

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

3-19 附帯教育事業に対する取り組みの組織・体制は明確になっているか
--

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-19-28 附帯教育事業に対する取り組みの組織・体制は明確になっているか	附帯教育事業に対する取り組みの組織・体制は明確になっているべきである。	学則に明確に表示されている	附帯教育の稼働実績は離職者訓練のみとなっている。今後、離職者訓練以外を検討していく。	学則
3-19-29 附帯教育事業に関連する講座の開設・受講の状況・推移を正確に把握しているか	附帯教育事業に関連する講座の開設・受講の状況・推移を正確に把握されなければならない。	事業計画の中に生涯学習は含まれており、明確な位置づけがなされている	特になし	学則

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>附帯教育事業に対する取り組みの組織・体制は明確になっており基準を満たしていると思われる。</p> <p>今後、介護職員実務者研修も申請する予定である。</p>	<p>介護職員初任者研修</p> <p>移動支援従業者</p> <p>介護技術講習会</p> <p>簿記検定対策講座</p>

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
---------------	------------	--------------	-------

基準 4 教育成果

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>就職に関しては、就職に関しては、介護福祉学科の就職率が 100%、ビジネス学科の就職希望者の就職率は 80%である。</p> <p>学生の就職に関する目標はほぼ達成したといえる。資格取得に関しては目標を達成しており、資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握している。</p> <p>今年度、介護福祉学科の退学者が 3 名、ビジネス学科の退学（除籍）者は、2 名おり、退学率の低減に関する目標は達成しているといえないが、サポート等必要な場合は適宜行っていく。</p> <p>卒業後の活躍については、ほとんどの卒業生は社会で活躍し、評価を得ているが、学会発表など外部に向けてのアナウンスに関して特筆すべき人物がない。</p>	<p>就職は本校の紹介が多いこととともに実習先からのスカウトも多い。就職エントリーにあたり、推薦書交付</p> <p>介護福祉学科の就職希望者の就職率は 100%</p> <p>ビジネス学科の就職希望者の就職率は 80%</p> <p>介護福祉学科は全員介護福祉士を取得</p> <p>情報ビジネス学科の資格取得率は 55%</p> <p>サポート体制の拡充が望まれる</p> <p>特別養護老人ホームの主任から厚生労働省の認知症予防研究の主幹に抜擢された例があるが今は退官している。</p>

最終更新日付	2015 年 3 月 31 日	記載責任者	吉川 智之
--------	-----------------	-------	-------

4-20 学生の就職に関する目標を達成したか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-20-1 学生の就職に関する目標を達成したか	学生の就職に関する目標は常に100%を目指さなければならない。	介護福祉学科の就職率が100% ビジネス学科の就職希望者の就職率は80%である。	希望者全員の就職を実現するため、就職先の開拓が必要である。	就職先一覧
4-20-2 就職成果とその推移に関する情報を明確に把握しているか	就職成果とその推移に関する情報を明確に把握している必要がある。	就職先はほとんどが本校の紹介であるとともに実習先からのスカウトが多い。	紹介でも不合格の生徒がいるので、フォローが大切である	就職先一覧

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職に関しては、介護福祉学科の就職率が100%、ビジネス学科の就職希望者の就職率は80%である。学生の就職に関する目標はほぼ達成したといえる。	就職は本校の紹介 推薦書交付 面接指導等

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

4-21 資格取得に関する目標を達成したか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-21-3 資格取得に関する目標を達成したか	介護福祉士国家資格に関しては、入学者全員に国家資格を取得させるべきである。ビジネス学科に関しては、簿記および情報関連資格の取得を促すべきである。	今年度の卒業生は介護福祉士を全員取得。 簿記検定合格者7名、文書処理検定合格者11名 ビジネス関連の資格受験は任意なので、すべての学生に受験させる場合、モチベーションの維持が課題である。	ビジネス学科の資格取得率を上げなければいけない。 離職者訓練のパソコン関連資格取得者は年間160名程度。	厚生労働省報告
4-21-4 資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	学生の資格取得を担当が確認し、教務の責任者が資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握しなければならない。	受験者のデータは把握できている。また受検または、申請は本校で取り次ぎを行うので受験しやすい。	特になし	資格取得名簿

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格取得に関する目標を達成しており、資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握している。	介護福祉学科は全員介護福祉士を取得 情報ビジネス学科の資格取得率は55%

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

4-22 退学率の低減に関する目標を達成したか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-22-5 退学率の低減に関する目標を達成したか	退学者が発するサインをクラス運営の担当が把握し早急に対応すべきである。	今年度退学者 3 名であるが、退学の前には保護者と連絡を取り、対応してきた。	綿密なサポート体制の整備が必要である。	名簿
4-22-6 入退学者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	入退学者数とその推移に関する情報を明確に把握すべきである。	入学者と退学者の数と理由はすべて教務で把握している。	退学者のサポート体制と連絡体制の強化が望まれる。	名簿

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
退学者が 3 名おり、退学率の低減に関する目標は達成しているといえないが、サポート等必要な場合は適宜行っていく。	サポート体制の拡充が望まれる。 普段からの個別面接の充実。

最終更新日付	2015 年 3 月 31 日	記載責任者	吉川 智之
--------	-----------------	-------	-------

4-23 卒業生・在校生は社会で活躍し、評価を得ているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-23-7 卒業生は社会で活躍し、評価を得ているか	卒業生の社会的活動は学校として把握しておくべきである。	分野で活躍している卒業生を把握し、卒業生インタビューやイベントゲストとして依頼している。	すべての卒業生が社会の評価を得られるよう努力する。	就職先名簿 同窓会記録
4-23-8 卒業生の例として特筆すべきものを記述できるか	卒業生の活動は、学校案内や Web ページなどにおいて告知していくべきである。	特別養護老人ホームの主任から厚生労働省の認知症予防研究の主幹に抜擢された例がある。	今後も特筆すべき人材の養成に努めたい。	就職先名簿 同窓会記録
4-23-9 在学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価されたか	在学生や卒業生の社会的活動は学校として把握しておくべきである。	テレビの取材や研究発表等評価された例が数件ある程度である。	学会などで発表できる人材の養成に努めたい。	なし
4-23-10 在学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価された例として特筆すべきものを記述できるか	在学生や卒業生の社会的活動は学校として把握しておくべきである。	校内発表会や研究発表会などで、活躍している学生が数名いる。	学会や研究会などで発表できる人材の養成に努めたい。	なし

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
ほとんどの卒業生は社会で活躍し、評価を得、いい学生を紹介してくれたと就職先の人事担当者が毎年お願いにくる。学会発表など外部に向けてのアナウンスに関して特筆すべき人事がない。	特別養護老人ホームの主任から厚生労働省の認知症予防研究の主幹に抜擢された例があるが今は退官している。

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

基準5 学生支援

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>就職に関する説明会、就職に関する学生個別相談を実施し、学生の就職・進学指導に関する体制は整備され有効に機能している。また、就職の具体的活動(面接・履歴書の書き方・面接指導)に関する指導を実施している</p> <p>学生相談室を開設し、個別に学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているが、学生からの相談に応じる常勤の専用カウンセラーがいない。担任教諭が担当している。</p> <p>奨学金制度、学費の分納制度等など学生を経済的に支援する制度が整備され、有効に機能している。</p> <p>定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制があり、学生からの健康相談等に専門に応じる医師・看護師等がいる</p> <p>スポーツ等のクラブ活動、ボランティア活動その他、課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能している。</p> <p>遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているが、自校の寮ではない。アパート紹介の業者が入っている。</p> <p>欠席の場合の連絡、問題発生時の相談体制の充実しているため保護者と適切に連携していると思われる。</p> <p>同窓会は存在しているが、あまり活発ではない。スキルアップ講座を開催し卒業生全員に案内している。</p>	<p>年数回の個別相談、ガイダンスを積極的に行っている</p> <p>少人数制を生かし、学生の変化に敏感に対応している</p> <p>協会の奨学金、本校の特別奨学金、分納制度あり</p> <p>年2回健康診断を行う、提携医院、非常勤の看護師を設置</p> <p>スポーツ大会、バス旅行、ボランティア活動（カリキュラム内）</p> <p>2食付きの格安寮を案内、アパート紹介</p> <p>欠席の場合の連絡相談、問題発生時の相談体制</p> <p>リカレント・ブラッシュアップ教育として 介護技術講習会指導者講習 ネイルケア・リフレクソロジー基礎資格 ガイドヘルパー講座 簿記検定対策講座 等</p>

最終更新日付

2015年3月31日

記載責任者

吉川 智之

5-24 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-24-1 学生の就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	学生の就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能すべきであるとする	就職ガイダンス、個別相談の体制が整備されている。 ビジネス学科は進学も多いことから、大学進学希望者のために、校内ガイダンスを行っている。	早い時期にガイダンスを行うと意識が低い。時期の検討を要する。	学校案内
5-24-2 就職に関する説明会を実施しているか	就職に関する説明会を実施しなければならない。	年数回また外部説明会に参加するとともに校内ガイダンスも行っている。	就職相談会の回数の増加。 意識を上げるための話をしてもらう。	就職案内
5-24-3 就職に関する学生個別相談を実施しているか	就職に関する学生個別相談を実施しなければならない。	入学後早い段階で個別相談を行い、就職まで数回の個別相談を行っている。	就職したくない学生の対応が難しい。	学校案内
5-24-4 就職の具体的活動(履歴書の書き方など)に関する指導を実施しているか	就職の具体的活動(面接・履歴書の書き方など)に関する指導を実施しなければならない。	就職指導の授業において行っている(パソコン、手書きとも)	特になし	カリキュラム

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学生の就職・進学指導に関する体制はほぼ整備され、有効に機能している。 就職の具体的活動(面接・履歴書の書き方など)に関する指導を実施している。	年数回の個別相談、ガイダンスを積極的に行っている。 就職指導の授業において行っている。

5-25 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-25-5 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能されるべきである。	少人数制を生かし、また担任制度を設けているので学生の相談に関する体制は整備できている	学生の変化に敏感になるべき。問題は早期に発見することが大切。	学校案内
5-25-6 学生相談室を開設しているか	学生相談室を開設すべきである。	個別に対応できる相談室がある。	学生相談室の雰囲気作り。	学校案内
5-25-7 学生からの相談に応じる専用カウンセラーがいるか	学生からの相談に応じる専用カウンセラーは必要であれば検討すべきである。	常勤のカウンセラーはいないが、非常勤のカウンセラーは存在する。	常勤にすべきかどうかは今後検討する。	学校案内
5-25-8 留学生に対する学生相談体制は整備され、有効に機能しているか	留学生に対する学生相談体制は整備され、有効に機能しなければならない。	生活指導員を設け積極的に相談に応じている。 外国語を話せる教職員が2名いる。	気持ちの共感が必要。積極的な声掛け。	学校案内

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているが、常勤のカウンセラーは雇用していない（非常勤はある） 留学生に対する学生相談体制は整備され、有効に機能している。	少人数制や担任制を生かし、学生の変化に敏感に対応していく。 留学生に関して、生活指導員を設け積極的に相談に応じている。外国語を話せる教職員が2名いる。

5-26 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-26-9 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しなければならない。	年度初め奨学金の告知。 日本学生支援機構奨学金 東京都育英奨学資金 東京都介護福祉士等修学資金 生命保険協会介護福祉士修学資金 日商特別奨学金等	介護福祉士修学資金の募集が少ない。アナウンスが重要である。 また、介護福祉士修学資金についてはハードルが高い。今後東京都に働きかけていく。	学校案内
5-26-10 奨学金制度が整備され、有効に機能しているか	奨学金制度が整備され、有効に機能することが必要である。	協会の奨学金、本校独自の奨学金等充実している。	今後、特待生を設けるかどうかの検討が必要。	学校案内
5-26-11 学費の分納制度等、学生を経済的に支援する制度が整備され、有効に機能しているか	学費の分納制度等、学生を経済的に支援する制度が整備され、有効に機能する必要がある。	年2回の分納の他、学費納入が厳しいときは相談に応じている。	外国人留学生の分割は柔軟に対応しすぎている。 今後、年2回までの分納を徹底する。	学校案内

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
奨学金、分納制度を含めた学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能している。	協会の奨学金 本校の奨学金 分納制度あり

5-27 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-27-12 定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制はあるか	定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制は必要である。	健康診断は年2回行っており、学生の健康状態の把握がなされている。	外国人留学生在が健康診断を受診しない者もいる	健康診断資料
5-27-13 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能する必要がある。	契約している医師、また常勤の看護師を設置し、早急に対応している。 緊急の場合は救急車を呼ぶこととしている。	常勤の看護師で対応し、対応できない場合は提携医院まで搬送。	学校案内
5-27-14 学生からの健康相談等に専門に応じる医師・看護師等がいるか	学生からの健康相談等に専門に応じる看護師等が必要である。	契約している医師、また常勤の看護師を設置し、早急に対応している。	常勤の看護師で対応し、対応できない場合は提携医院まで搬送	学校案内

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制があり、提携している医師や非常勤の看護師がいるため、健康面は万全である。	年2回健康診断を行っている。 提携医院、常勤の看護師を設置

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

5-28 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-28-15 スポーツ等のクラブ活動、ボランティア活動その他、課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機	ボランティア活動その他、課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能すべきである	スポーツ大会、バス旅行、ボランティア活動を行っている。	旅行等のレジャー部分を増やすことを検討している	学校案内

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
スポーツ等のクラブ活動、ボランティア活動、バスハイク等その他、課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能している	スポーツ大会 バス旅行 ボランティア活動（カリキュラム内）

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

5-29 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-29-16 遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われなければならない。	提携寮あり アパートの紹介	自校の寮が必要かどうかは検討している	ルームガイド

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているが、自校の寮ではない。	2 食付きの格安寮を案内している

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

5-30 保護者と適切に連携しているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-30-17 保護者と適切に連携しているか	多彩な学生を受けいれている現状を踏まえ、学校だけでは目の届きがたいところを保護者と連携して学生を指導すべきである。	随時、担任が保護者と必要に応じて連絡を取り合っている。	日常より綿密な保護者との関係性を気づくことが大切である。	なし

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
欠席の場合の連絡、問題発生時の相談体制の充実しているため保護者と適切に連携していると思われる。	欠席の場合の連絡相談 問題発生時の相談体制

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

5-31 卒業生への支援体制はあるか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-31-18 同窓会が組織化され、活発な活動をしているか	同窓会は組織されるべきである。	同窓会は存在している。回報、パーティーの開催等	年1回の同窓会だが、内容が薄いように感じるため、日頃より卒業生の社会的活動を把握しておくことが重要である。 同窓会を年2回に増やすことも検討している。	同窓会回報
5-31-19 卒業生をフォローアップする体制が整備され、有効に機能しているか	卒業生をフォローアップする体制が整備され、有効に機能する必要がある。	各スキルアップのための講座を案内している。	スキルアップ講座の充実。	事業計画

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
同窓会は存在している。年1回の同窓会だが、年2回に増やす方向で検討している。同総会時に、スキルアップ講座を開催し卒業生全員に案内している。	介護技術講習会指導者講習 ネイルケア・リフレクソロジー基礎資格 ガイドヘルパー講座 簿記検定泰作講座 等

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

基準 6 教育環境

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備され、メンテナンス等も十分である。ただ、計画性は不十分である。</p> <p>介護福祉学科に関しては、学外実習、インターンシップなどはしっかりと整備されているが、ビジネス系学科に関しては、整備されていない</p> <p>消防訓練を始め、消火器や非常ベルの取扱い等を周知させ、防災に対する体制は整備され、有効に機能している。また、各種保険に加入に防災には万全の態勢で臨んでいる。</p>	<p>最新機器として、福祉用具（ベッド、杖、車いす等）、パソコン 等</p> <p>介護実習として 450 時間（2 年）が規定に定められている</p> <p>消防訓練を年 2 回以上行っている。防災機器、学生保険、各種保険 等</p>

最終更新日付	2015 年 3 月 31 日	記載責任者	吉川 智之
--------	-----------------	-------	-------

6-32 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
--

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-32-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	養成施設の規定に準拠した設備を整備しなければならない。	養成施設の規定に準拠して整備している。演習用の機材は最新のものを取りそろえている。	毎年、新しいものが出るたびに購入していたのであれば、コストがかかりすぎる。	学校案内
6-32-2 施設・設備のメンテナンス体制が整備され、有効に機能しているか	施設・設備を効率よく教育に還元するため定期的なメンテナンスが必要である。	各担当教諭が責任を持って管理、メンテナンスしている。	定期的な修繕計画が必要。	学校案内
6-32-3 施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りに更新しているか	施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りを更新するように努めなければならない。	必要に応じて教育活動に支障が出ないようメンテナンスを行っている。	改善計画を作る必要がある。	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備され、メンテナンス等も十分である。施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りを更新するように努めている。	最新機器 福祉用具 パソコン 等

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
---------------	------------	--------------	-------

6-33 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-33-4 学外実習、インターンシップ、海外研修等について外部の関係機関と連携し、十分な教育体制を整備しているか	仕事として役立てるためにインターンシップ（実習）はととも重要で、実習先と連携し、十分な教育体制を整備することが必要である。	介護福祉学科に関しては、実習 450 時間が法令で定められている。海外研修にはい現在行っていない。	ビジネス学科はインターンシップ制度を採用していないが、今後検討する必要がある。	学校案内
6-33-5 学外実習、インターンシップ、海外研修について、その実績を把握し教育効果を確認しているか	実習に際し、実績を把握し教育効果を測定し確認するべきである。	介護福祉学科に関しては、実習の報告書及び実習日誌により確認している	情報・経営ビジネス学科に関してはインターンシップ導入を検討しつつ、地域の社長等に講演等をお願いしている。	学校案内

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
介護福祉学科に関しては、学外実習、インターンシップなどはしっかりと整備されているが、ビジネス系学科にインターンシップ等の導入を検討している。	介護実習 450 時間（2年）

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

6-34 防災に対する体制は整備されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-34-6 防災に対する体制は整備され、有効に機能しているか	消防・防災計画に基づき、各所に責任者を設け、安全な環境・施設を整備する必要がある。	防火管理者を決めて、年 2 回以上訓練を行っている。	訓練時の真剣度が低い。	消防計画
6-34-7 災害を起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられているか	災害を起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられなければならない。	コンロや喫煙場所などの取扱い上の注意が案内されている。	防災の周知の徹底を行う必要がある。	消防計画
6-34-8 実習時等の事故防止の体制は十分か	実習時等の事故防止の体制は施設側と連携しつつ確実にやっていく必要がある。	学生保険に加入している。	特になし	学則
6-34-9 万が一の災害が起きた場合に備えた保険等の処置は十分なものとなっているか	万が一の災害が起きた場合に備えた保険等の処置は十分なものとなっている必要がある。	各種保険に加入している。	特になし	学則

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-34-10 防災訓練を実施しているか	有事の際に集団的・効率的に対応するために日頃からの防災訓練は実施しなければならない。	年2回以上防災訓練を行っている。	訓練時の真剣度が低い。緊張感をもって訓練にのぞむよう指導を徹底する。	消防計画

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
消防訓練を始め、消火器や非常ベルの取扱い等を周知させ、防災に対する体制は整備され、有効に機能している。また、各種保険に加入に防災には万全の態勢で臨んでいる。	消防訓練（年2回以上） 防災機器 学生保険 各種保険 等

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

基準 7 学生の募集と受け入れ

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生募集活動は、適正に行われ、学校案内等は、志望者の立場に立った分かり易いものとなっているが、定員は満たせていない</p> <p>就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍の教育成果は、学生募集に貢献したといえ、卒業生の紹介による入学者が数名いる</p> <p>入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われて、個人情報はきちんと管理されている</p> <p>学費等の設定に関しては、他校の状況も踏まえ、適当な学費と思われるが他校と比べると少々高額かもしれない。</p>	<p>学生の目線で学校案内を作成、入試担当者を設置</p> <p>紹介入学者制度</p> <p>入学試験は 介護福祉学科 書類選考、面接、作文 ビジネス系学科 書類選考、筆記試験、面接</p> <p>人件費、施設維持費等必要最低経費で行っている</p>

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

7-35 学生募集活動は、適正に行われているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-35-1 学生募集活動は、適正に行われているか	専修学校協会の募集規定を遵守すべきである。	同取り決めに従い、教職員が一丸となって実施している。希望者には強制せず、本人の意思決定にまかせ、入学してもらっている。	これからも無理強いしない広報活動を展開していく。	学校案内
7-35-2 学校案内等は、志望者・保護者等の立場に立った分かり易いものとなっているか	学校案内等は、志望者の立場に立った分かり易いものとなっていない。	学生の気持ちになってできるだけわかりやすい学校案内づくりを心掛けている。	学生の目線だけでなく、保護者の目線も必要である。視覚に訴えかける媒体作りが重要。	学校案内
7-35-3 志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制があるか	希望者等の問い合わせ・相談に対応する体制を整備し、できるだけわかりやすく説明する必要がある。	入試課で担当者が細かく説明を行う体制ができている。ただ、簡単な説明は他の教職員でも対応が可能である。	担当者が不在のときの対応ができていない場合がある。	学校案内
7-35-4 募集定員を満たす募集活動となっているか	定員充足率を上げる募集活動をおこなうべきである。	さまざまな広報活動を行っているが、定員が満たせていない。	定員を満たせる学校案内作り、広告媒体の選定を厳しく行っていく。	学校案内

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生募集活動は、適正に行われ、学校案内等は、志望者の立場に立った分かり易いものとなっているが、定員は満たせていない。	学生の目線で学校案内を作成 入試担当者を設置

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

7-36 就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍の教育成果は、学生募集に貢献したか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-36-5 就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍の教育成果は、学生募集に貢献したか	就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍の教育成果は、学生募集に貢献することが推奨される。	介護福祉士に関しては卒業生全員取得なので、貢献したといえる。 ビジネス学科に関しては、資格取得者は全員ではない。	ビジネス系学科についてはすべてを有資格者にし、学生募集に貢献してもらうようにする。	学校案内
7-36-6 卒業生の活躍の教育成果が学生募集に貢献したかどうか正しく認識する根拠を持っているか	卒業生の社会活動は学校として把握し、学校に協力してもらうことを推奨する・	卒業生の紹介の入学希望者が毎年数名いる。 卒業生インタビュー等を行い、学校案内等で協力をお願いしている。	いい教育を続けていけば、もっと卒業生の紹介は多くなかと思われる。	紹介入学者

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍の教育成果は、学生募集に貢献したといえ、卒業生の紹介による入学者が数名いる。	紹介入学者

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

7-37 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-37-7 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われ、毎年、試験内容は更新する必要がある。	書類選考 面接、作文 筆記試験 等	今後も厳格な入学試験を続けていくべきである。	学校案内
7-37-8 入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	マーケティング戦略として性格に把握し、広報部として分析すべきである。	各学科入学希望者の名簿をつくり細かく管理している	高校および日本語学校からの事前情報が少ない場合がある。	出願者名簿

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われて、個人情報はきちんと管理されている	入学試験は 介護福祉学科 書類選考、面接、作文 ビジネス系学科 書類選考、筆記試験、面接

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

7-38 学納金は妥当なものとなっているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-38-9 学納金は、教育内容、学生および保護者の負担感等を考慮し、妥当なものとなっているか	学費は時代・景気に沿った、妥当なものである必要がある。	人件費、施設維持費等必要最低経費で行っている。 学納金以外の諸経費の内訳については、入学後に説明している。	時代に合わせて、留学生の学費を減免した。 介護福祉学科に関しては、他校と比べると少し高額かもしれない。	学校案内
7-38-10 学納金に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	年度推移を正確に把握すべきである。	教務、経理課にて把握おり、理事会で報告している。	学費納入に関することは、プライバシーであり、各教諭に伝えるなどあまりオープンにできない。	なし

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
他校の状況も踏まえ、適当な学費と思われる	人件費、施設維持費等必要最低経費で行っている

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

基準 8 財務

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>財務に関しては、中長期的に学校の財務基盤は安定しており、主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているといえる。</p> <p>年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものとなっているが、予算外の件については、理事長・理事会の知るところによる。</p> <p>理事会の承認により、監事によって財務について会計監査が適正におこなわれている。</p>	<p>介護福祉学科とビジネス系学科の安定、附帯教育の充実</p> <p>理事会、監事による承認</p> <p>予算書、決算書の公開</p>

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

8-39 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-39-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	学校法人の財政にとって最も重要な要件は収支の均衡であり、すなわち、帰属収入で基本金組入れと消費支出を賄うことが原則である。	介護福祉学科とビジネス系学科の安定。 離職者訓練の充実。	定員を満たさない場合、人件費削減を検討する必要がある。講師料の見直しも検討していく。	なし
8-39-2 主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているか	財務諸表における主要な財務数値を経年度把握し、構成比・趨勢比等の数値を把握し、学校の実態をより正確に把握すべきである。	経理部により、学校法人にとって重要な数値の経年度のデータが作成されている。	財務データを開示し、教職員全員に損益分岐点の把握を徹底したい。	なし

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
中長期的に学校の財務基盤は安定しており、主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているといえる。	介護福祉学科とビジネス系学科の安定 附帯教育の充実

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

8-40 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-40-3 年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものとなっているか	年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものとならなければならない	収入と支出のバランスが取れている。	なし。	なし
8-40-4 予算は計画に従って妥当に執行されているか	予算どおりに執行されていなければならない。	理事会にて、予算書と決算書の確認を行い、監事が予算通りに執行されているかを監査している。	予算通りに執行されていないものがあるので、予算の見直しを検討する。	なし

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものとなっているが、予算外の件については、理事長の知るところによる。	予算書と決算書

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

8-41 財務について会計監査が適正におこなわれているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-41-5 財務について会計監査が適正におこなわれているか	監事および外部の監査法人の公認会計士により、業務監査および会計監査を適切に行うべきである。	監事および監査法人による業務監査および会計監査を行い、評議員会へ諮問ののち、理事会で最終承認	今後も、各種法令に準拠して行うべきである。	貸借対照表 損益計算書
8-41-6 会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当なものか	会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当かどうか把握しなければならない。	公認会計士による監査は決算から2ヵ月以内に受けることとなる。監事と公認会計士による二重の監査を行っている。	今後も、各種法令に準拠して行うべきである。	貸借対照表 損益計算書

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理事会の承認により、監事によって財務について会計監査が適正におこなわれている	理事会 監事

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

8-42 財務情報公開の体制整備はできているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-42-7 私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか	私立学校法における財務情報公開の体制整備は行うべきである。	決算の後、2ヵ月以内に開催される評議員会に財産目録、貸借対照表、収支計算書および事業報告書を諮問し、理事会で承認した後、事務所に備え置き、閲覧に供している。	この結果をホームページにリンクするなどして、一般の閲覧に供する必要がある。	なし
8-42-8 私立学校法における財務情報公開の形式は考えられているか	私立学校法における財務情報公開の形式は考えられていない。	現在、同法に準拠して財務情報公開を実施。	この結果をホームページにリンクするなどして、一般の閲覧に供する必要がある。	なし

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
行政機関に提出することで行っていると思われる。	なし

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

基準 9 法令等の遵守

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされていて、法令や専修学校設置基準等の遵守に関して、教職員に対する啓発活動を実施している</p> <p>志願者、学生や卒業生および教職員等学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策がとられている。</p>	<p>東京都、三鷹市との相談体制</p> <p>紙媒体、電子媒体とも責任者を決め、セキュリティポリシーを定めている</p>

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

9-43 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-43-1 法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされているか	法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされなければならない。	厚生労働省・文部科学省・東京都・三鷹市などに不明な部分は相談し、解決している。	教職員に徹底すべきである。	
9-43-2 法令や専修学校設置基準等の遵守に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	法令や専修学校設置基準等の遵守に関して、教職員に対する啓発活動を実施しなければならない。	学校及び法人本部、役員会等において啓蒙活動を行っている。	今後、機会をとらえて啓発活動を実施。	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされていて、法令や専修学校設置基準等の遵守に関して、教職員に対する啓発活動を実施している	東京都、三鷹市との相談体制の整備

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

9-44 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-44-3 志願者、学生や卒業生および教職員等学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	志願者、学生や卒業生および教職員等学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策がとられなければならない。	紙媒体、電子媒体とも責任者を決め、セキュリティポリシーを定めている。	ごく稀に個人情報が露出している場合があるので、責任者が注意を促している。	学校案内
9-44-4 個人情報に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	個人情報に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しなければならない。	教員には、セキュリティポリシーの遵守の用紙配布と学生には、授業の中で説明している。	学園全体の統括的責任者の権限と責任の明瞭化、個人情報保護計画に基づく研修が必要。	学校案内

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
志願者、学生や卒業生および教職員等学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策がとられている。	紙媒体、電子媒体とも責任者を決め、セキュリティポリシーを定めている

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

基準 10 自己点検・自己評価、第三者評価

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>自己点検・自己評価を定期的実施し、問題点の改善にむけて努力しており、介護福祉学科の学生に関しては、自己点検に取り組んでいる。</p> <p>自己点検・自己評価結果は公開している。</p> <p>学校は、今後実施される第三者機関による学校評価が義務付けられた場合第三者評価を受ける予定である。</p>	<p>介護福祉学科の学生は自己点検・自己評価を行っている</p> <p>自己点検の結果は原則Webにて公開である</p> <p>学校関係者評価は整備中である。</p> <p>第三者評価機構の評価を受ける上での体制の確保が急務</p>

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

10-45 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-45-1 自己点検・自己評価を定期的実施し、問題点の改善に努めているか	自己点検・自己評価を定期的実施し、問題点の改善にむけて努力しなければならない。	介護福祉学科の学生は自己点検に取り組んでいる。	ビジネスの学科の学生の自己点検が必要である。	自己点検表
10-45-2 自己点検・自己評価に関する方針は確立されているか	自己点検・自己評価に関する方針は確立されていない。	学則等に定められている。	自己点検・自己評価に関する方針の確立の必要がある。 学校関係者評価を検討している。	学則
10-45-3 自己点検・自己評価に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	自己点検・自己評価に関する方針は関係者に対して伝えるべきである。	教職員には伝わっている。	学生への自己点検の意義の周知。	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
自己点検・自己評価を定期的実施し、問題点の改善にむけて努力しており、介護福祉学科の学生に関しては、自己点検に取り組んでいる	介護福祉学科の学生は自己点検・自己評価を行っている

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

10-46 自己点検・自己評価結果の公開はしているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-46-4 自己点検・自己評価結果は公開しているか	自己点検・自己評価結果は公開を検討すべきである。	現在、公開していないが本書をもって公開する。	ホームページに掲載する予定である。	なし
10-46-5 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は確立されているか	自己点検・自己評価結果の公開に関する方針を確立すべきである。	作業中である。	ホームページに掲載する予定である。	特になし
10-46-6 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	かかる情報は、各部署の関係者が共有すべきである。	作業中である。	ホームページに掲載する予定である。	特になし

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
自己点検・自己評価結果は公開している	Webにて

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------

10-47 第三者機関による学校評価を受ける予定・方針は確立されているか

点検小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-47-7 学校は、今後実施される第三者機関による学校評価を受ける予定か	学校は、今後実施される第三者機関による学校評価を受けることを検討していく	現在、第三者評価は実施していない。	第三者評価より先に学校関係者評価を検討する。	なし
10-47-8 第三者評価に関する方針は確立されているか	第三者評価に関する方針は確立される方針で検討していく。	現在、第三者評価は実施していない。	第三者評価より先に学校関係者評価を検討する。	なし
10-47-9 第三者評価に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	第三者評価に関する方針は関係者に対して正確に伝えていかなければならない。	現在、第三者評価は実施していない。	第三者評価より先に学校関係者評価を検討する。	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校は、今後実施される第三者機関による学校評価が義務付けられれば、第三者評価を受ける予定である。	第三者評価機構の評価を受ける上での体制の確保が急務である

最終更新日付	2015年3月31日	記載責任者	吉川 智之
--------	------------	-------	-------